

2008-1-1

ふじさわ・九条の会ニュース



NO11

発行人 ふじさわ九条の会 事務局長 斉藤隆夫 0466-35-7104

Eメール fujisawa9jo@infoseek.jp HP <http://fujisawa9.hp.infoseek.co.jp/>

11月24日 第2回・九条の会全国交流集会 550地域九条の会、1020人集う



11月24日東京・教育会館第2回全国交流集会が開かれました。全国550の地域から1020人が集まり、全体会、分散会を行い、各地の九条の会の活動経験を交流しました。

「ふじさわ・九条の会」からは小林、金子の二人が参加しました。当日発表では、全国の九条の会は、6801とのことでした。冒頭、小森陽一事務局長の挨拶のあと、5人の九条の会呼びかけ人の挨拶があり、ついで、全体集会、分散会が開かれ、全国各地・各界からの経験報告がありました。(全体集会5名、10分散会では230名が発言)

<各地、各界からの発言から>

東京九条の会・こがねい～78歳の蓑輪喜作さん、一人で8210筆の署名をとる

札幌山の手九条の会～パンフ6000冊作成

釧路九条の会～北大元学長石井教授が会長

生田九条の会～明治、専修大学の学生も参加

諏訪九条の会～地元の新聞に毎回、会の活動や催し物を載せてもらっている

名東九条の会～自家用車を自前の宣伝カーに仕立

て宣伝、3分間スピーチをやっている
念仏者九条の会～憲法9条は仏の願い、九条の会会員であることを名乗ることが大切
高知九条の会～土佐清水では市民50%署名、元社会党幹事長、自民党幹事長も発起人
北九条の会～区議会議員25名(7会派)が九条の会会員、区議会の過半数を制している
青梅九条の会～日本の青空自主上映815名参加

<藤沢から全国集会に参加して>

学生九条の会発足に感動

11月24日、会場はぎゅっしり詰め込まれ参加者であふれかえる様。やっぱり、高齢者が多かったけど、元気いっぱい。どの発言も興味深かったのですが、とりわけ素晴らしかったのは、学生代表の報告でした。3月から準備して、この秋に学生九条の会を成功させました。都内、近県から54大学、1100人が集い、加藤周一さんの講演と「9条と私」というテーマで交流したそうです。「今後も学生の中に運動を広めてゆきまーす。」という明るい発言に会場は沸きました。

午後は分散会でしたが、学生さん達だけは一分科会に集まって今後の運動について交流しあったそうです。(金子不二子記)

分散会で藤沢の活動を報告

分散会で、ふじさわ・九条の会の活動を報告しました。財政活動と戦争体験記の発行に、皆さん大変興味を持たれた様でした。まとめの全体報告会で、「藤沢は、日本一、財政豊かな九条の会である」と報告され、ビックリしました。

(小林麻須男記)

「九条の会」呼びかけ人 からのあいさつ



当日参加した5人の「九条の会」呼びかけ人の皆さんから、次の様な挨拶がありました。

奥平 康弘さん（憲法研究者）

「九条の会」から学んだことは、9条第2項を守ろうという人は、単に自衛隊反対だけではなく、様々な理由と考えを持っている。憲法の解釈だけではなく、政治的に「改憲」が提起されているとすれば、政治的に対応することが必要である。

加藤 周一さん（評論家）

「九条の会」設立当時は「改憲」の動きに対して憲法を守ろうとして始まったが、内閣が変わり、対応も変わる必要がある。福田内閣は、手強い相手である。「9条を守る」だけでなく「9条を生かす」ことを進める必要がある。

澤地 久枝さん（作家）

この3年間で日本は悪くなったが、一方良くなったこともある。市民の意識に目覚めた人々が増えてきたことである。様変わりしてきたこの世の世直しは、憲法を生かしていくことである。

鶴見 俊輔さん（評論家、哲学者）

80年間続けて反戦感情は私の中に生きている。「九条の会」がもっと長く続けば、戦争を無くすことができるかもしれない。原爆を2度落とされたのは、日本が初めて。そこから世界史を変えるくらいのエネルギーが出てくるかもしれない。

大江 健三郎さん（作家）

11月9日の大阪地裁で、相手側の弁護士は曾野綾子さんの「神話の背景」を読み上げた。『国に殉ずるという美しい心で死んでいった……。』私には理解できない。渡嘉敷島の集団自決で死んだ赤ん坊、老人、女性のその前で、「美しい心」という恥知らずな言葉を言う者らに対して、私の母親が言っていたように、口をひねりあげてやらねばならないと思っている。

神奈川でも 「9条かながわの会」集會に2000人 やっぱり9条 神奈川から世界へ

11月25日、「九条かながわの会」県集會が開かれました。参加者は2000人くらいだったでしょうか。会場はいっぱいでした。

ふじさわ・九条の会」は地域九条の会のみなさんにも呼びかけた。参加券は38枚。実際の参加者は25～6人だったと思う。

集會は作家の半藤一利さんと九条の会事務局長の小森陽一さんの対談。小森さんが半藤さんの憲法によせる想いをうまく引き出してくれた。私は半藤さんの「平和憲法を基軸にすることによって戦後の日本は、復興し、繁栄した・・・」というこの「基軸」という言葉が印象に残った。小森さんは九条の思想が世界の安全の問題を解決する力になってきていることを語っていた。この集會でもう一つうれしかったことは大学で学生の「九条の会」が生まれようとしているという報告だった。学生に「九条の会」が生まれてくることは若者全体へのつながりも強くなるといえるだろう。うれしいことである。（斎藤 隆夫記）

＜戦争体験を聞いて 思いが変わった＞

善行中学校 2年生の感想

僕は、戦争体験を伝える会の方々の話を聞いて、改めて戦争の恐ろしさを知りました。話を聞く前は、戦争はもう終わったし、自分には関係ないと思っていました。でも、話を聞いて戦争をこんな風に見てはいけないと思いました。それに世界には核兵器がたくさんあって、それがいつ発射されるかわからないと思うと、戦争がとても身近なものに感じる様になり、戦争の恐ろしさがわかり、そういうことは二度とやってはいけないと思う様になりました。そして、戦争体験を伝える人の大切さがわかりました。あと、駅などで、署名などをしているときに、何か言われても続けられているのはすごいと思いました。それと戦争に賛成している人たちが、体験を聞いて思いが変わったらいいなと思いました。

第2回、地域九条の会 交流会開く



12月20日、推進センターに藤沢市内の6つの地域九条の会の代表9名とふじさわ九条の会の事務局5名が集まって、交流会が聞かれました。会は第1回の時より3つ増え、それぞれに会員や賛同者を増やしている姿は、鎌倉にも茅ヶ崎にもない藤沢らしさといえます。

六会・九条の会、湘南台・九条の会、辻堂文化九条の会、江ノ電沿線九条の会が、活動を報告されました。また明治地域九条の会は開店休業状態ですが、ニュースは9号も発行し、藤沢で一番早く発足した大庭九条の会はライフタウンの有名人に声掛けして活動しようと考えていることなど、それぞれの会の活動の様子や財政のあり方は全く違っていても、それぞれに持ち味を生かして活動している様子が語られました。3月頃に第3回の交流会を持ちたいと希望が出され、和やかに散会しました。

(折原美智子記)

六会・九条の会 発足2周年集会



「六会・九条の会」は12月15日、地元の六会市民の家で発足2周年のつどいを開催。第1部は藤沢合唱団のリードで合唱、第2部では六会公民館ふるさとまつりで掲示したパネルを使って学習会。第3部は総会で、1年の活動と来年度の計画を提案・承認。参加者は会員26人、来賓9人、計35人でした。

(上浦孝彦記)

江ノ電沿線九条の会 「冬のつどい」開催

12月9日、私たち江ノ電沿線九条の会は「冬の集い」を藤ヶ谷市民の家で、23名が出席して開催しました。12月8日「その日あなたは」と題して、5人のパネラーから発言してもらいました。パネラーのYさんは当時早稲田に在学していて登校途中友達から開戦を聞き自分も死ぬしかないと思ったと言います。女学生だったKさんは朝登校前にラジオで開戦を聞いたと言います。まだあまり軍国主義の強まっている自覚もなく、食糧もあり、サラッと過ごしていた様ですが、中学2年生だったBさんは「戦闘状態に入れり」の放送を聞き、いよいよ来たなと思ったと言います。その後、出征兵士が増えて提灯行列で兵士を送ったこと、B29が頻繁に飛ぶようになったこと、奉安殿が造られ最敬礼ばかりやらさせられたこと、勉強がなくて勤労奉仕ばかりさせられたこと、Yさんは、ある女教師から宮木百合子の本を見せられ読んだことがその後の自分に繋がったと思うなど、つらく苦しかった当時の思い出が尽きず、「今に思いを重ねる」という部分が薄くなってしまったことは残念でした。また参加者の半数が戦争を知らない世代でしたがその方達の声が聞けなかったことも残念でした。第2部では奥田清二さんの楽しい手品で、参加していた子どもも大喜びで、笑いの雰囲気に包まれ散会しました

(風間慎子記)

辻堂文化九条の会 「秋の講演と音楽の集い」

2007年4月に発足後、憲法記念日には近くの長久保公園で宣伝行動をしたり、9の日行動、不戦ちかい平和行動などに参加してきました。11月18日は、「秋の公園と音楽の集い」を開催、40名の方が参加しました。辻堂東海岸に在住、長い間平和運動を続けてこられた浮田さんのお話を聞いたり、コカリナ演奏、事務局の木下さん、渡辺さんによるピアノ組曲「引治川」も演奏も見事でした。地域に根ざした文化を守り育てる運動を取り入れていることが、私たちの会の大きな特徴です。これからも、楽しく地道な歩みを続けてゆくつもりです。(永山園子記)

湘南台・九条の会

独自で駅頭宣伝行動



湘南台・九条の会では、独自で宣伝行動をやるうと、12月9日、会員

12名が参加して、小田急湘南台駅頭でピラまきをやりました。ピラを約300枚まき、署名も42筆とりました。会員が津軽三味線を奏で、にぎやかに、楽しく宣伝行動を行いました。

タウンニュースを読んで

「私の戦争体験記」購読申し込み

10月20日のタウンニュースに、ふじさわ・九条の会発行の「私の戦争体験記」第2集の紹介記事を読んでもらったところ、十数人の方から購読の申し込みがありました。中には、知り合いにも読ませたいからと3部も注文頂いた方や、第1集も読みたいがありますか、等の声がありました。また、今度出すときは自分の戦争体験を読んでもらえないかと原稿を届けてこられた方もありました。事務局としては、今年度に第3集を発行しようと考えています。

「平和を考える風の会」(辻堂)紹介

「戦争をしないと約束した憲法を守りたい」というタイトルで二ヶ月に一度A4版3枚のニュース「風のたより」を出しているグループがあります。内容はその都度、新聞テレビで話題になっている問題を取り上げ、詳細にわかりやすく説明しています。

ちなみに12月号は、「補給支援特措法について」等々。手にしたときは感動しました。これは「平和を考える風の会」の辻堂西海岸に住んでいる秋本和美さん他2名の方で作っているとのこと。どんなに小さくとも、藤沢の中で憲法を守る運動がどんどん広がってゆくことは、大変うれしい事です。(永田陽子記)

ふじさわ・九条の会3周年集会

4月4日開催、市民会館大ホール

講演と音楽の夕べ

講演～井上ひさしさん



作家、「九条の会」呼びかけ人
九条を守ることの大切さを語ります。

音楽～ハーフムーン

(琢磨仁&啓子夫妻)



美しいウクレレの音色に乗せて湘南のさわやかな風と調べをかなでます。

参加費 800円 (学生・20歳以下500円)

<事務局だより>

「タウンニュース」新年元旦号に 名刺広告

タウンニュース社より新年元旦号に当会の名刺広告の掲載の依頼があり、いつも、当会の活動について紹介してもらっているのので、掲載することにしました。ご覧下さい。

－当面の日程－

- 1月9日 3周年記念集会実行委員会
推進センター 14時～
- 1月14日 9の日行動、成人式に会わせて14
日にしました。12時～藤沢駅南口
- 1月14日 事務局会議 14時より
市民活動推進センター
- 1月23日 世話人会 18時30分～
市民活動推進センター